

山伝宝 妙経寺だより

令和四年暮れ号
(令和四年十二月)



日蓮宗では、立正安国お題目結縁運動を展開しています。
お互いを敬い合い、命の尊さに気付き、社会を明るくすることが運動の目的です。

日蓮宗

いのちに合掌

令和四年 師走のご挨拶

檀信徒のみなきま、こんにちは。妙経寺副住職の滝澤です。

コロナ禍が始まって3年程が経過し、また早いもので今年も師走を迎え、感染拡大が懸念される寒い季節がまた到来します。

まや保育園の園児さんや保護者、職員の中にも新型コロナウイルスに罹る人はたくさんいましたので、新型コロナウイルスは私にとつてある意味身近な存在ではありましたが、つい先日、ついに自分自身が新型コロナウイルスに罹ってしまいました。

頭痛と風邪症状があったので「まさか」と思い事前に用意していた抗原検査キットでチェックすると「陰性」の結果に。やれやれとなりただの風邪だろうと思っていたところ、症状の辛さが通常の風邪とは全く違っていたので、もしかしたらインフルエンザかな？ などと思っていたのですが、数日後、病院で検査した結果、家族全員が新型

コロナ陽性という結果になりました。今までに体験したことがないような強い頭痛だったこともあり、病院で診断結果が分かった時は「あ、やっぱり普通の風邪じゃなかったんだ」と少しホッとしたこと覚えられています。

周りの人から新型コロナウイルスに罹った時の辛さはさんざん聞いていましたが、自分自身が罹り、身をもって辛さを体験した上で、改めてみなさんに「新型コロナウイルスには罹ってはいけな

い」と強くお伝えしたいです。丸三日ほどは全く起き上がる事ができず、必要最低限の水分を摂取した上で激しい頭痛にひたすら耐えるという状況でしたし、また一週間ほど経過してもすつきり症状が治るわけではなく、咳や喉の痛みなどがずっと続いている状況です。うちの子どもも小学校でも学級閉鎖するクラスが出るなど、寒く

なつて感染が拡大してきているようですので、小さいお子さんが周りにいる場合は特に注意が必要です。

一方で、過度に神経質になることで、一歩も外出しなくなってしまうと不安でしようがなくなつてしまつたりといった過敏症の人も一定数いるようです。

新型コロナウイルスも風邪の一種ですので、心身ともに健康であることが一番の予防策だと思えます。適度な運動で気分転換を高めましょう。みなさんが健康で元気に新年を迎えられることを切にご祈念申し上げます。



青梅積善結社 閉堂に関して

去る令和四年九月三日に青梅積善結社にて閉堂式を無事厳修し、青梅積善結社は長い歴史に幕を閉じました。

妙経寺の現住職である小島上人の祖父に当たる小島日甫上人が開いたのが青梅積善結社ですが、その後、谷村要存上人、谷村英存上人と代が代わり、平成二十四年に谷村英存上人が急逝されてからは妙経寺の小島住職が兼任という形で道場を守つて参りました。

しかし、谷村要存上人の妻である谷村愛子様が令和二年十月に九十五歳で亡くなられたことでこの度の閉堂を決定することとなりました。たくさんの信仰熱心な方に通つていただいた道場です。閉堂することはとても残念ですが、続けていくことは難しいという結論に至りました。

お墓ですら次の世代に引き継ぐことが難しく、「墓じまい」が一種のブームのようになってしまつている世の中ですが、色々なことを「閉じる」、「仕舞う」ことが増えた気がします。

これも「時代の流れ」と言つてしまえばそうなのかもしれません。それが、効率の良さや利便性、経済性だけを優先するのではなく、世代を超えて守つていくことの大切さも忘れてはいけません。改めて感じています。

長らく道場に通つていただいた信徒の皆さま、大変ありがとうございました。また、今後も引き続き八王子妙経寺とお付き合いいただける方は今後ともよろしくお願いいたします。

聖語

我日本の柱とならん 我日本の眼目とならん 我日本の大船とならん等と誓いし願やぶるべからず

開目抄
文永九年 聖寿五十一歳

非常に有名なご遺文で、日蓮聖人の「三大誓願」と呼ばれています。「我日本国の柱となり、眼となり、大船となり」とは、私が法華経を通じて真に正しい本来の日本たらしめる、という日蓮聖人の大いなる誓い입니다。

ここ数年、人口減少による経済の縮小などの予測から、日本は衰退しつつある凋落するといった論調が目立ってきています。それはそれで一つの現実なのかもしれません。しかし、国家の真価は、経済や領土によつてのみ決まるものではありません。人間の真価がその人の財産で決まるわけではないのと同じです。法華経を通じてみなさんと共に「一人がどうあるべきか」を考え、共に精進していければと思います。



新年行事のご案内



金洗弁財天
「初金洗」
元旦特別祈禱
「初盛運祈願会」
一月一日午後二時〜

本紙を執筆している十二月中旬時点では、令和五年の元旦初参りは通常通り実施する予定です。
※変更になる場合はご連絡いたします

●初金洗い
お手持ちのお金を洗い清めて福德をいただきます。お授けする「福寿種銭」は、預金や通帳など大切な財産と一緒に保管して下さい。
財産を浄化します。
前年までの古い種銭は、またお清めしますのでお寺にお納め下さい。
●初盛運祈願会
皆さまの一年のご多幸をお祈りし、またお申し込みいただいた木札の特別祈願を行い、法要後に木札の授与を致します。ここ数年、コロナ禍の影響でお寺での乾杯を中止していましたが、今年は乾杯できるといいますね。



祈

荒行堂
団体参拝
一月十二日
(木)
十一時〜

昨年はコロナ禍の影響で大荒行堂での修行自体が中止となっていました。今年も荒行が行われておりますので、一月十二日(木)に荒行堂への団体参拝を予定しています。当日は十一時からご祈禱を受けるとなっています。荒行僧のご祈禱を受ける少ない機会となり、また、今回第三行も入っている稲荷上人にも面会できますので、皆さ
んぜひご参加下さい。



令和五年（2023年）厄年早見表

※赤字は

女性			男性		
前厄	本厄	後厄	前厄	本厄	後厄
2006年 平成18年生 (18歳) いぬ	2005年 平成17年生 (19歳) とり	2004年 平成16年生 (20歳) さる	2000年 平成12年生 (24歳) たつ	1999年 平成11年生 (25歳) うさぎ	1998年 平成10年生 (26歳) とら
1992年 平成4年生 (32歳) さる	1991年 平成3年生 (33歳) ひつじ	1990年 平成2年生 (34歳) うま	1983年 昭和58年生 (41歳) いのしし	1982年 昭和57年生 (42歳) いぬ	1981年 昭和56年生 (43歳) とり
1988年 昭和63年生 (36歳) たつ	1987年 昭和62年生 (37歳) うさぎ	1986年 昭和61年生 (38歳) とら	1964年 昭和39年生 (60歳) たつ	1963年 昭和38年生 (61歳) うさぎ	1962年 昭和37年生 (62歳) とら

令和五年年中行事のご案内

- 一月一日(日) 新年初祈禱・初金洗い・初盛運祈願会 午後二時〜
- 一月十二日(木) 荒行堂団体参拝
- 三月一日(水) 稲荷大祭 午後二時〜
- 例年四月頃の身延大会は未定です
- 六月一日(木) おみがき 午後一時〜
- 七月一日(土) ※毎年七月第一土曜日
施餓鬼大法要 午後一時〜
※新盆に当たる仏様のご家族は是非お焼香下さい
- 十月十八日(水) 宗祖報恩御会式 午後一時〜
- 十二月一日(金) おみがき 午後一時〜
- 十二月十八日(月) 釜×(幣束お衣替え) 午後二時〜
- 【月例行事】
毎月一日 盛運祈願会 午後二時〜四時
十八日 報恩感謝会 午前八時半〜